



もいわ南麓

札幌市の教育が目指す人間像

自立した札幌人

- ・ 未来に向かって 新たな価値を創造し 主体的に学び続ける人
- ・ 自他のよさや可能性を認め合い しなやかに自分らしさを発揮する人
- ・ ふるさと札幌に誇りをもち 持続可能な社会の発展に向けて 行動する人

〇一人一人が自他のよさや可能性を認め合える学びの推進します

一人ひとりの良さや可能性を大切に、多様性を尊重する態度を育てることで互いの考えを広げ、新しい価値を生み出す取組を進めます。悩みや不安を抱える子どもの心のケアなど幅広い支援を充実させ、学校が子どもたちにとって安心で充実した場になるようにします。個々の状況に応じた教育支援体制を整え、誰もが自分らしく豊かに暮らせるよう可能性を最大限に伸ばします。

〇学校・家庭・地域総ぐるみで育み、生涯にわたり学び続ける機会の拡充を図ります

学校・家庭・地域が一緒に子どもを支え、子どもの声を大切にする学校や地域をめざします。子どもも大人も互いに学び合いながら成長し、よりよいまちづくりにつながる活動を充実させます。すべての人が生涯にわたって学べる場を増やし、学んだことを地域で生かす機会を広げて、誰もが豊かな人生を送れるようにします。

〇社会の変化に対応した教育環境の充実を図ります

デジタル化・グローバル化などの様々な環境変化に対応し、子ども一人一人の学びを支える教育環境の充実を図ります。地域における人々の課題解決を支援する学びの場として、生涯学習センターや図書館等の機能を強化し、生涯にわたる学びを支える環境の充実を図ります。

さっぽろの学校が大切にしていること



先日、子どもの発達の段階を踏まえ、学校経営や教育課程の編成及び実施、生徒指導等に生かすために、特に重点となる施策や教育内容を示した概要版をお配りしました。子ども・保護者向けに、札幌の学校が大切にしていることを共有するリーフレットになります。

令和6年度は「学校・家庭・地域」における共通の航海図をコンセプトとして、内容を一新しました。

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに向けて、令和8年度も引き続き、「子どもの声を聴く」ことを全ての教育活動を貫く重点とし、学校教育を推進していきます。学校・家庭・地域が一体となって、札幌市学校教育における学びや成長を実感し、その過程や経験を誇りをもって、心豊かにしなやかに歩み続ける子どもを育みます。

5月の教育活動

日	曜	主な予定	給食
11	月		○
12	火	2年宿泊学習結団式 2年部活動停止(~15日)	○
13	水	2年宿泊学習①	○
14	木	2年宿泊学習②	○
15	金	2年臨時休業日 1年5時間授業 1・2年部活動停止	○
16	土		
17	日		
18	月	3年全国学力状況調査(英語)	○
19	火	開校記念日	
20	水	生徒総会リハーサル 歯科検診(全学年)	○
21	木	生徒総会 部活動写真撮影 尿検査2次	○
22	金	3年修学旅行結団式 1年午前授業 職員会議 完全下校 部活動休養日	○
23	土	3年部活動停止(~28日)	
24	日	3年修学旅行①	
25	月	3年修学旅行②	○
26	火	3年修学旅行③	○
27	水	3年臨時休業日	○
28	木	1年校外学習結団式 諸費引落日 1年部活動停止(~29日) 3年臨時休業日	○
29	金	1年校外学習	○
30	土		
31	日		

※詳細は「月行事予定」を御覧ください。

学校諸費 引き落としのお知らせ

5月28日(木) (再引落日 6/5)

は、諸費引き落とし日となっています。後日配付いたします『学校徴収金納入一覧』を御確認の上、御準備をお願いいたします。

※引き落とし手数料1回10円を加算して御入金下さい。

○道徳講演会(非行防止教室)

5月8日に北海道警察によるオンラインでの非行防止教室が行われました。体育館で一斉に話を聞くのではなく、途中でチャットやクイズ形式で交流しながら話を聞くことができました。SNSを介してのトラブルが全国的に増える中、いま一度、家庭内でネットの使用ルールなど、ご確認いただきたいと思えます。以下にコラムも紹介いたします。

家庭内での情報モラル

ルールの作り方

ネットトラブルの実態やネットモラル向上啓発等を目的として生徒向けのコラムを掲載いたします。

【他人への思いやりを育てる オンライン行動】

インターネット上では、顔が見えない相手と簡単にやり取りができます。しかし、その分、相手の気持ちを考えずに発言してしまい、知らないうちに傷つけてしまうこともあります。オンラインでも、現実の世界と同じように「思いやり」をもつことが大切です。

まず、SNSなどでコメントを書くときは、「この言葉を直接相手に言えるか?」と考ええるよう伝えましょう。たとえ冗談のつもりでも、相手にとっては傷つくこともあります。また、誹謗中傷や悪口に加担しないことも重要です。「みんながやっているから」と安易に拡散したり、同調したりするのではなく、一歩引いて冷静に判断する力を持つことが必要です。

不適切な投稿やトラブルを見つけたときは、保護者や先生、SNS管理者に相談することも大切です。オンライン

でも相手を尊重し、温かい言葉や行動を心がけることで、より良い使い方ができるよう見守りましょう。



【学びのサポーターについて】

今年度も藻岩中学校学びのサポーターとして、田中由美子様、高谷直子様、森崎裕子様の方が活動を開始しました。学びのサポーターとは札幌市が導入している制度で、日常の授業等における生徒の学習支援を本校教諭と共に行っていただけける皆様です。